



- 豊かな自然や歴史の景観ゾーン
- 足立60景
- 1981年開設

応募者コメント

1 「あさひの広場の展望所から見る疎林」

展望所から樹木がまばらにある状態（疎林）を撮ったものである。展望所から見下ろすので分かりやすい眺めになっている。また、樹木の間隔が十分に離れているので、見通しがよく、明るい空間になっており、林内感のあることが分かる眺めになっている。ありふれた眺めのように見えるが、他の公園や日本庭園などでは見られないものである。

2 「舎人公園駅から見る公園の噴水広場」

舎人公園駅のホームから公園の噴水広場を撮ったものです。噴水広場は中央に見えています。背景（樹林）がよく、まわりの緑の樹林との対比で大変目立っています。樹林も白い人工物の広場と道との対比によって緑のよさが引き立てられています。道が奥の方まで伸びているので奥行きのある眺めになっており、公園の広さが分かります。噴水広場は見やすい位置にあるので公園を見ると自然と目に入ってきます。

3 「舎人公園のハス池と眺める場所」

ここのハス池で素晴らしいのは眺める場所がよく整備されていることです。池のすぐ近くに歩道があり、それが池を周回しているので、様々なところからハスを間近に眺めることができます。また、池の中央には橋がかかっているので、ハスを池の内側からも眺められます。ベンチに座ってゆっくり眺めることもできます池から少し離れて見ると池の全体を見渡せます。このハス池は昨年（令和5年）造成されたものですが、昨年よりもハスが増えて水面を覆っていますが、ある程度水面が見えた方が池らしくなります。

4 「とねりこうえんのさくら」

なんかいいかんじ

5 「頭上を枯れ葉がモクモク」

舎人公園はいつ行ってもリラックスできますが、なかでも、この季節が一番すき。油絵のような写真が、きれいでした。



6 「鏡の大池」

子育て中は、頻繁に出向いた舎人公園でしたが、近年は訪れる機会がめっきりと減っていました。野球場利用の前に久しぶりに園内に入ってみたら、赤や黄色に染まった木々を写す大池が余りにも美しく、しばし見とれました。

7 「秋の舎人公園」

朝の散歩で訪れた舎人公園。イチョウが黄色く色づき、池ではのんびりと魚釣りをする人々とカモたち。心が洗われる風景です。

8 「舎人公園の紅葉」

初めて息子とみた綺麗な紅葉を一生忘れません。

9 「舎人公園から舎人ライナーを臨む夕焼け」

コロナ禍で外遊びも憚られたときに、舎人公園南側が開園して、夏の貴重な広々とした、家族ごとに点々と運動や散歩できる場でした。週末の日中、たくさんのグループでとても賑わっていて、夕暮れどきになるとだんだんと人がいなくなります。そんな頃、フリスビーが飛び先に夕陽がオレンジ色になって、舎人ライナーの向こう側に落ちていきます。子どもが大人になって足立区を離れたとしたら、この風景を見て「足立区に帰ってきたなあ」と思ってくれるのではないかと考えています。ここを視点場として景観を規制することを検討していただきたいです。夕陽の左側に建つ2本のマンションがもっと乱立し舎人ライナーより高いビルが建ち、電車が通る影が見えなくなると。この視点場は残す価値があると思います。

10 「守る景色」

家族と地元を永遠に守っていく。

11 「日常の中にある非日常」

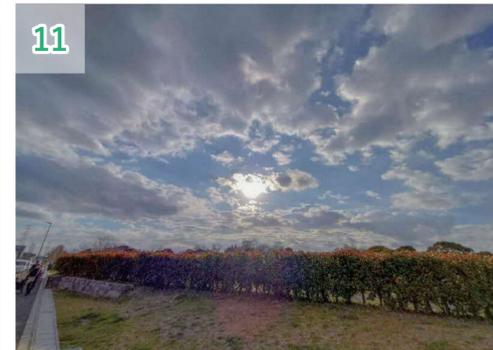
日常の中にある非日常に焦点を当てて撮影しました。

12 「舎人公園内」



委員コメント

- ・並木や蓮など含め都市緑地として、舎人公園を統合して風景資産とし、「風景」として次世代へとつながることを期待する。
- ・区内最大級の公園で有り、区民の憩いの場として、広い空と多様な自然が楽しめる。





1

- 豊かな自然や歴史の景観ゾーン
- 景観重要都市公園
- 1984年開設
- 稲架掛け 9月中旬～10月中旬
- 足立60景

応募者コメント

- 1 「稲架(はさ)掛け」**
昔ながらの稲架(はさ)掛けを見ることができます。
- 2 「都市農業公園の広場」**
毎年来ていますが、桜の季節は特に、友達同士、家族などでにぎわっています。のどかな雰囲気、いつまでも滞在したい気持ちになります。
- 3 「レンゲ草に包まれて」**
農業の機械化が進み、レンゲ草を見なくなってきました。ここ都市農業公園では見る事が出来ます。他の地域に住む方からもうらやましがられます。ずっと続けて欲しい風景の一つです。
- 4 「和井田家古民家と浅野家長屋門」**
都市農業公園内の古民家です。今は中に入れなくて残念でしたが、公園の雰囲気と合わせて、かつての農村だった足立を思い起こします。
- 5 「満開の梅林」**
早咲き勢から遅咲き勢へとシフトし、白梅がメインとなった梅林の散歩道。ピークのように、とても幻想的でした。
- 6 「梅花の散歩道」**
梅が咲く景色は霞のように、やわらかいピンク色の散歩道です。



2



3



- 7 「橋の上から見た満開の桜並木」**
川沿いに臨む満開の桜並木を眺めると、ここに住んでよかったとあらためて思えます。
- 8 「新芝川沿いの桜並木」**
サイクリングロードは桜のトンネルです。
- 9 「八重桜のトンネル」**
公園前の歩道は八重桜の桜並木。満開になると八重桜のトンネルになります。

投票者コメント

- ・島根神楽や富士山稲刈りなど貴重な風景、宝です。
- ・はざ掛、戦後のなつかしい光景です。食糧難のなつかしい涙の出る思いです。

委員コメント

- ・農業を通して自然とふれ合う公園となっている。足立区にあった農の風景を伝えていく上で大切な資源である。
- ・区内に点在する農地や水路は、かつての足立区の原風景を思い起こさせる貴重な資源であるが、年々失われている。こうした農の風景を都市農業公園に集め残しておくことで、足立区らしい景観として多くの人々に認識してもらいたい。
- ・江戸時代後期の建設された和井田家古民家は、足立区指定有形民俗文化財となっており、1984年に都市農業公園に移設された。



4



5



6



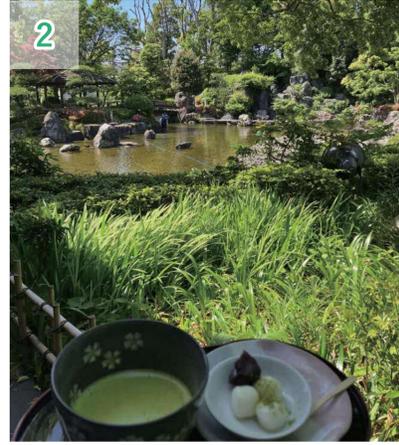
8



9



7



- 身近な水と緑の景観ゾーン
- 1982年開設
- 足立60景

応募者コメント

1 「少しの紅葉」
初めて行きましたが都内であること忘れるような良い雰囲気でした！
2 「桜花亭」
おいしい抹茶を飲みながら景色を楽しむ。

投票者コメント

・桜花亭の庭園の落ち着いた雰囲気が良い。
・舎人公園と桜花亭で、ウェディングフォトをとりました。桜とドレスと着物です。ステキな思い出です。
・桜花亭には行った事がないので、この秋行ってみたいと思います。

委員コメント

・23区の公共庭園の中でも、初期に公開された質の良い日本庭園。当時は区画整理の際に多くの意思を入れて豪華に作り、今ではこのような公共庭園を新たにつくることは難しい。
・花畑記念庭園には、滝・池・小川・築山などがあり、四季折々の景色が訪れる人の目を楽しませ、桜花亭からはその風景を一望できる。

- 豊かな自然や歴史の景観ゾーン
- 足立区の保存樹林あり
- 1659年建立
- 11~12月ごろ紅葉

応募者コメント

1 「伊興のもみじはすごかった」
以前、雑誌を見て、感動し、写真を撮りに行きました。住職も気さくな人で、写真を撮らせてくださいました。全部のもみじを植えるまで、相当の年月を要したそうですが、この場所、あまり知られていません。足立に、京都並みに美しい寺があるとは・・・感動しました。

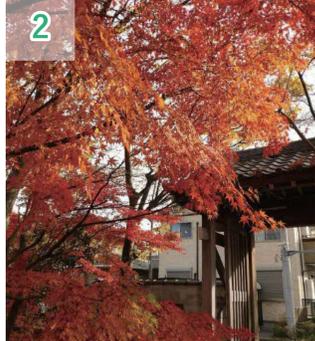
2 「伊興薬師寺のモミジ」
ご住職が長い年月をかけ大切に育てたモミジ。静かに楽しんでもらいたいとテレビ局の取材をお断りしたそうです。

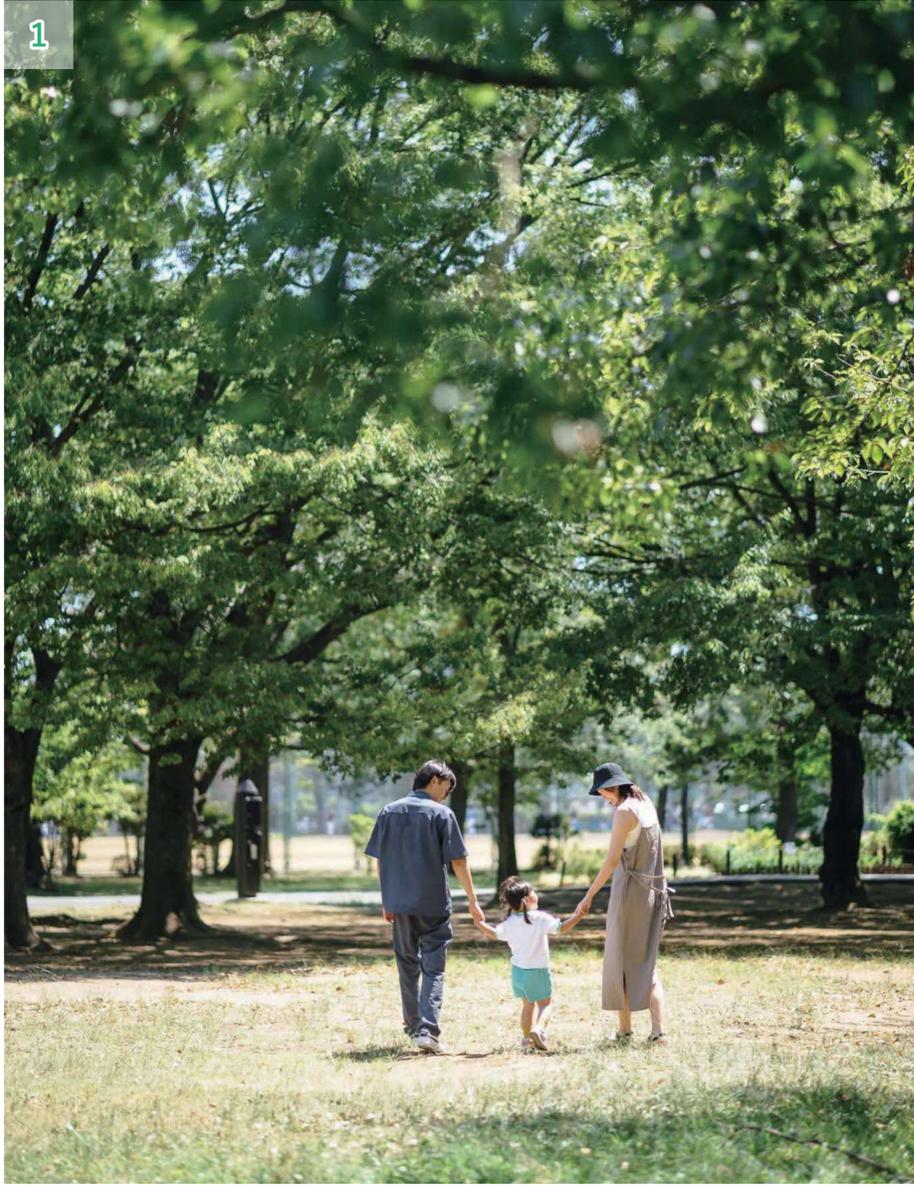
投票者コメント

・薬師寺さんの紅葉はご住職が集めて植えたとききました。色も色々あり秋を感じます。時々お寺に行き、眺めています。
・薬師寺の紅葉は本当に綺麗で鮮やかな紅葉が楽しんで秋は毎週通っています。
・足立にも京都に負けない紅葉があるから。
・薬師寺の紅葉は何度みてもあきない。
・秋の紅葉、人生の終わりを感ずる、俺も、もう終わりだと、つくづく思う。
・薬師寺の紅葉は都内一かも。

委員コメント

・住職自らが様々なモミジ約90種、ツバキ約200種を集めたことにより、日々移り変わる風景を楽しむことができる。寺の敷地内ではあるが、一般の人でも入ることができ、地域住民に愛されている。大切な景観として次の世代につないでいきたい。





- 身近な水と緑の景観ゾーン
- 1966年開設
- 足立60景

応募者コメント

1 「真夏の日差しと東綾瀬公園」
 都会の喧騒の中で、木陰のベンチで気持ちをリセット出来る大切な場所。真夏の日差しが降り注ぐ東綾瀬公園。何気ない瞬間だが、忘れてくれない家族の大切な時間。

2 「東綾瀬公園の池 都会のオアシス」
 JR綾瀬駅から続く東綾瀬公園の端にある野球場の脇に、木立に囲まれた小さな池がある。その辺りは鴨なども泳ぎ、鬱蒼とした静けさが漂い、都会のオアシスとも呼べる雰囲気があり、散策には絶好の場所です。

委員コメント

- ・馬蹄形の平面構成により、広範囲の市街地に潤いを与える貴重な公園となっている。
- ・施設内の東綾瀬せせらぎ水路の他、中居堀親水緑道や八か村落し親水緑道との連続性に配慮し、歩行者が楽しめる公園になっている。

- 豊かな自然や歴史の景観ゾーン
- 見沼代親水公園周辺地区特別景観形成地区
- 景観重要都市公園
- 1984年開設
- 足立60景

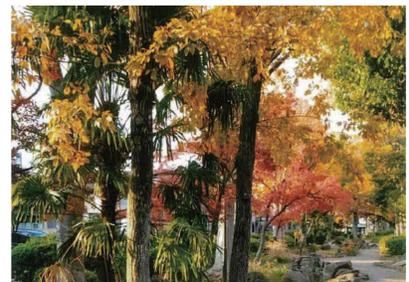
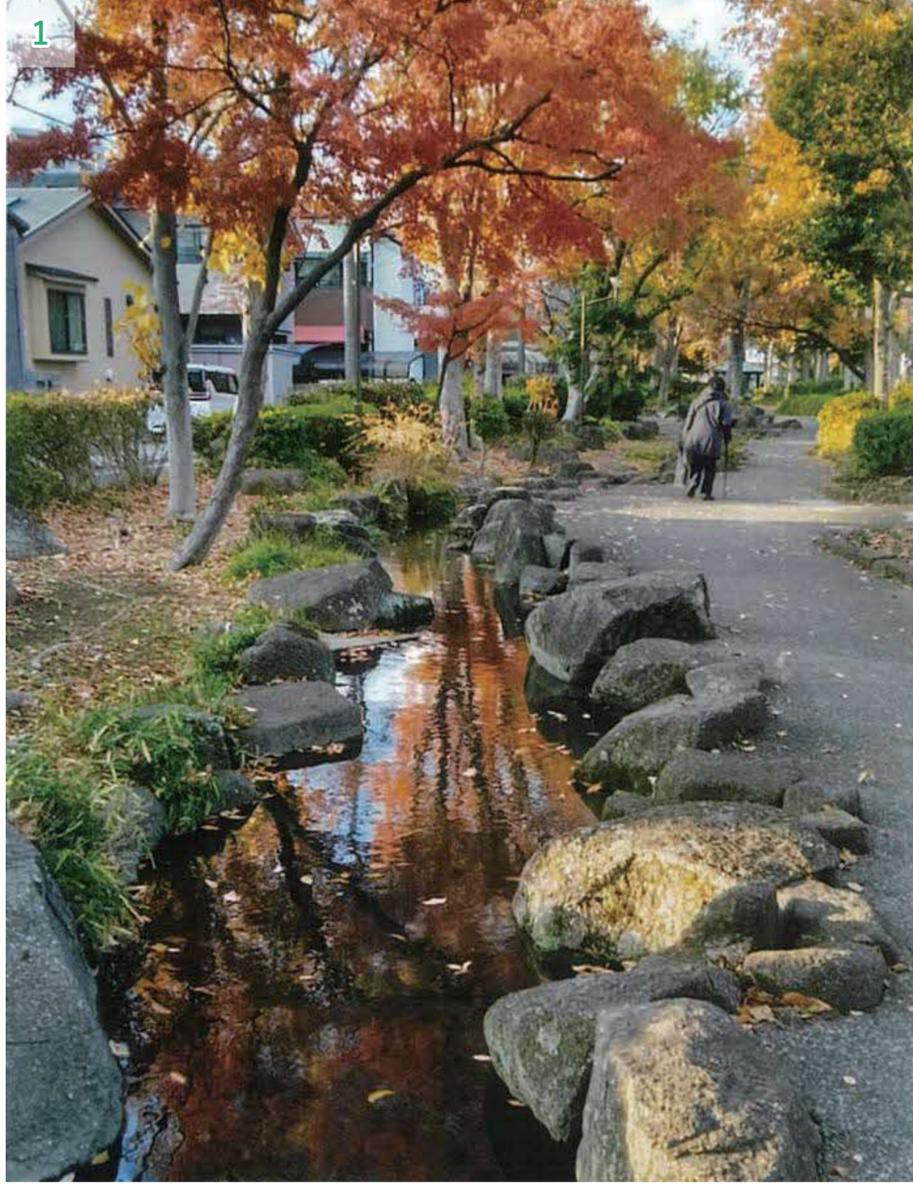
応募者コメント

1 「見沼代親水公園の秋」
 二月は梅、四月は桜、初夏にはアジサイなど季節の花が咲く。夏には緑陰にホッとす。流れる水の音に心癒される。

2 「見沼代親水公園」
 春夏秋冬、季節の良さを感じることができます。子供からお年寄りまで、みんなの憩いの場所です。

委員コメント

- ・足立区は親水公園の取組みが早く、当時は先駆的なプロジェクトだった。今では公園内の樹木が大きくなっており、緑豊かで落ち着ける場所である。
- ・かつての農業用水路が再整備された区内第1号の親水公園であり、周辺の低層住宅地の街並みと相まって、落ち着いた潤いのある景観を形成している。





- 河川に囲まれた新旧調和の景観ゾーン
- 2010年開設

応募者コメント

1 「秋の新田わくわく水辺広場」

爽やかな空気の中、散歩をするのがとても心地よいです。

2 「自然とスポーツを満喫できる場所」

新田わくわく水辺広場は広い空を感じられるお気に入りスポットです。見渡す限り一面の新緑の世界をロードバイクの集団がさっそうと走り抜けて行きました。

3 「広い空の下の緑あふれる堤防」

新田わくわく水辺広場は広い空を感じられるお気に入りスポットです。見渡す限り一面の新緑と青い空を組み合わせる切り取りしてみました。

4 「水辺広場で伸び伸びと」

荒川の川原にある新田わくわく水辺広場公園は、自然に恵まれた広い公園で、特に子供にとっては水遊び、昆虫採集等で自然に触れ合い、自由に遊べる公園です。折しも子供たちが思い思い、伸び伸びと遊んでいた。

委員コメント

・草地広場、ワンドや湿地などを設けたことにより、単なる防災のための構造物としての河川敷ではない、生物や人の姿のある河川敷の景観をつくり出している。



- 身近な水と緑の景観ゾーン
- 2005年開設

応募者コメント

1 「桑袋ビオトープ公園」

生き物がたくさんいて虫とりもできます。

投票者コメント

- ・ビオトープ（桑袋）の自然が素晴らしい。
- ・桑袋公園のような公園は東京では珍しいと思われる一方、心が安らぐ良い施設です。

委員コメント

・足立区は東京23区でありながら農や緑を身近に感じられる魅力があるが、桑袋ビオトープ公園は眺めの背景にある生態系や、動植物の四季の変化などを意識させるという点で、風景の見方を広げてくれるものと考えられる。
・日々移ろう自然と、そこで遊び育っていく足立の子どもたちの触れ合いの様子は、一日として全く同じにはならない。この場所、この自然と子どもたちの関わりのある方は今後も守り育てていきたいものである。





- 身近な水と緑の景観ゾーン
- 1975年開設
- 足立60景

応募者コメント

1「元渚江公園」

並木道がきれいなのでお気に入りです。

投票者コメント

・生物園にも光の祭典にも行きます。思い出がたくさんあって。大好きな場所です。

委員コメント

・昔から釣りができる唯一の公園。加えて生物園や光の祭典など、地域住民に長く愛されている公園である。

・公園の周りに水路があり、街と公園の連続性が感じられて良い。

・周辺住宅地との調和に配慮し、緑の拠点として区民が親しみやすい景観を作っている。

